

長崎・川棚町の虚空蔵山

九州のマッターホルン

長崎に帰省した折に、川棚町の虚空蔵山に登った。同町発行のパンフレットには「九州百名山・九州のマッターホルン」と書かれている。

2月21日午前10時、JR 大村線川棚駅からタクシーで岩屋登山口に向かう。「虚空蔵山に登る」と言うと、山頂を遠望できる場所で停車してくれた。なるほど「マッターホルン」と呼ばれるにふさわしい鋭鋒が快晴の空に突きたっていた。

「こくうぞうさんに登ったらこくっぞう」

運転手さんが言うには、こどもの頃から遠足などでよく登ったが、冗談交じりに「こくうぞうさんに登ったら、こくっぞう(こけるぞ)」と言いつつ傾斜のきつい山だとの事。



↑麓から見上げた虚空蔵山



↑冬にも咲くサツマイナモリの花

ダム建設の主目的は「佐世保市の水不足に備える」だったが、佐世保も川棚も人口減少が続いており、果たしてダムが必要なのかの疑問、そして「直近の町議選挙でダム反対を掲げた候補者がトップ当選したので空気が変わるかもしれませんね」と結んだ。

登山口周辺に続くサツマイナモリの群落

道はさらに谷間を上っていく。集落の最奥の農家を「ここも13軒のうちの一軒です。畑作って頑張っています」との説明をうけて、車は樹林帯に入った。

道の山側の斜面や崖に小さい白い花が沢山咲いている。冬から春にかけて開花するアカネ科のサツマイナモリだ。関西にもこの植物は自生しているが、これほどの群落は九州ならではと思われた。

岩屋登山口から登山開始

まもなく岩屋登山口に到着。トイレがあり、水が出ている。その水場のそばでムラサキケマン(ケシ科キケマ

川棚川沿いに走った車は、途中から支流の石木川に沿って上っていく。

虚空蔵山山系をバックに田畑がひろがる景色の中に「ダム建設反対」の立て看板が建っている。ここが全国的にも有名な石木ダム建設反対のたたかいの場なのだ。

40年以上も続いているダム反対運動

車窓からの風景に目をこらしていると、運転手さんが慎重な口ぶりながら語ってくれた。「反対運動は長く続いており、現在でも13軒の人たちが頑張っている」事、この辺りは夏にはホテルが乱舞し、子ども達が川遊びに興じる、町民の憩いの場である事、



ン属)が花を咲かせていた。こちらは早い出現だ。

10時30分出発。サツマイナモリの群落を楽しみながら、石ゴロゴロの急登を登る。山頂の標高は609mだが、登りだけが連続する登山道。10時47分「犬の墓」(狩で死んだ犬の伝説あり)で小休止、やがて木場登山口からのコースと合流、ここで道を間違えて、危なっかしいロープの下がる崖に出たが、引き返して、ピークを回り込んで11時20分山頂着。

懐かしい山、海、里

山頂からはどの方向にも展望がひろがっていた。西から南にかけて大村湾とその向こうの西彼杵半島、海沿いの町や村とその背後の山々。南東には高校時代から何度も登った多良の峰々、北～東には佐賀の山々が折り重なるように連なっている。

よみがえる少年時代の思い出

四囲の景色を眺めていて、60年以前のことどもが思い出された。私が高校時代、西海橋はすでに開通していたが、海上の長崎空港はまだできておらず、大村湾は穏やかできれいな内海だった。大村の岩礁でも、時津の砂浜でも何回か泳いだし、友人宅所有の釣り船でキス釣りを楽しんだのも大村湾でだった。

↑ムラサキケマン

楽しかった西彼杵半島一周徒歩の旅

西彼杵半島一周の徒歩の旅も懐かしい思い出だ。高校一年春休み、地学部の採集旅行で10人余が参加、テント、シュラフ、食料、自炊用具など持参。休暇中の学校(当時の大串中、七ツ釜小など)等にも泊めてもらいながら、山や谷、河原、海岸、崖などで、タガネ・ハンマーを振るって岩石や化石を採集しつつ一週間かけて回ったのだ。

半島の付け根にあたる時津町をスタート、徒歩で大村湾岸を北上、河内岳や白岳に登って水晶などを採集、西海橋に立ち寄った後、半島を横断して七ツ釜鍾乳洞を見学、五島灘沿いに南下しつつ瀬戸の海岸や当時の瀬戸町役場裏で化石を掘り、大瀬戸からバスで長崎市に帰着した。

岩石標本で日に日に重くなるリュック。食料現地調達で獲ったイイダコやドジョウ、いただいた野菜などを調理してしのいだ7日間。今、思えば、牧歌的で楽しかった高校生活だった。



続・続・二上山に咲く花々 21

キョウチクトウ (夾竹桃)

キョウチクトウ科キョウチクトウ属

写真は 故澤木仁さん

インド原産のこの花が二上山雌岳の頂上に咲くには矢張り違和感を覚えます。

原爆後「75年間草木も生えない」と言われた広島で、いち早く花を咲かせて人々に希望と勇気を与えました。

広島市の花に指定され、「夾竹桃のうた」が唄われています。「夏に花咲く夾竹桃……告げよう世界に原爆反対と」。同市の平和公園にも平和大通りにも植えられています。ただ有毒なので要注意。

